

# 世界と日本を核戦争にひきずりこむ

## 10.21 中央・千葉 反戦集会

### ロッキード居直り、生活破壊と軍拡につ走る

# レーガン来日(1/9)阻止 田中-中曽根打倒

# 日刊 動労千葉

83. 10. 25  
No. 1476

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電)二九三五・六 (公衆)〇四七二(22)七二〇七

10・21国際反戦デーの集会が、総評・社会党・県労連の各呼びかけによって日比谷野音で中央集会、千葉では都川公園において開催され、動労千葉は青年部を中心に中央集会には一〇〇名、千葉県集会には一三〇名それぞれ参加し、闘いを貫徹した。

同時に、とりわけ中央集会においては、こともあろうに会場へ入場しようとした動労千葉、三里塚を闘う隊列、各単産の参加者に対して動労「本部」革マルは狭い会場入口を国労上野に一部巢喰っている革マルを前面に出して会場入口を封鎖し、ぞくぞくと結集する労働者の入場を阻止するという万人とも許せぬ集会破壊の暴挙を行ったのである。

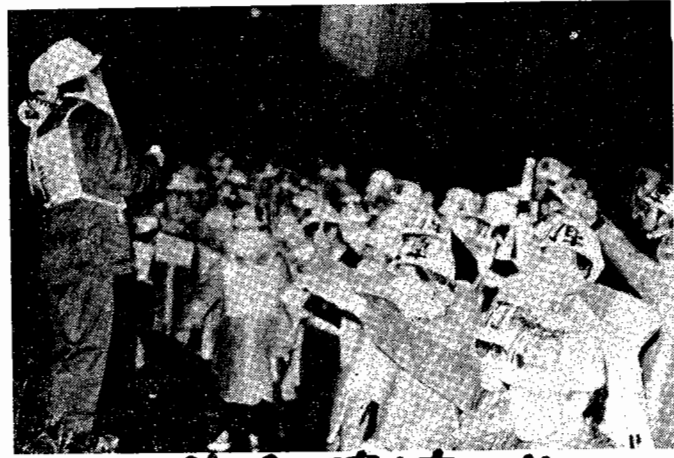
われわれは、このような動労「本部」革マルの集会破壊と闘う労働者に対する卑劣な敵対を満腔の怒りをもって弾劾するものである。

日帝・中曽根内閣の戦争政策の尖兵となつた動労「本部」革マル

10・21反戦デー中央集会は、雨の中ぞくぞくと労働者が結集し、集会の成功が勝ちとられることにあせりを感じた動労「本部」革マルはなりふりかまわず会場入口で会場警備と称して、集会破壊に公々然と出て来たのである。このことは極めて重大な犯罪であり、反戦・反核を闘う戦闘的労働者・人民に対する挑戦であり、敵対行動である。

と同時にそれは、体制的危機の中で登場した反動中曽根の政治危機・経済危機乗り切りを軍拡路線に求め、戦争政策へ向けて軍事大国化・改憲に突き進んでいる。こうした情勢下の中で産報化へ向けた中曽根の尖兵として動労「本部」革マルが、反戦闘争圧殺にうってでてきたのである。このことのもつ犯罪性の第一は、政府・空港公団による三里塚反対同盟解体攻撃に対して「農地死守、一切の話し合い拒否」「二期工事阻止、空港廃港」という原則をあくまで貫らぬき通して闘う三里塚闘争破壊の攻撃と同質のものであるということ。

第二には、政府・国鉄当局が一体となつて今日すさまじいいきおいでかけてきている未曾有の国



**10.21集会破壊の革マルを弾劾!**  
「連弾劾=レーガン歓迎、中曽根よう護」の立場から10.21集会破壊をはたらいた動労「本部」革マルに全参加者の怒りが集中。レーガン来日阻止・革マル弾劾を訴える動労千葉青年部に大きな注目が集った。(10.21 日比谷野音入口)

鉄労働運動破壊攻撃の中で、「職場と仕事を守る」なるペテン的な反労働者の「働こう運動」を方針化し、積極的に協力し、国労、動労千葉など闘う部分に対しては挑発者呼ばわりし、破壊することと一体のものである。

第三は、反動中曽根の軍事大国化・改憲攻撃にあつて反戦・反核闘争の全国的な燃えあがりの中で、一方、総評・社会党など指導部のデモすら行わないという否定的な現実を打ち破り決起した戦闘的労働者・人民に対する悪質な闘争破壊であり、戦争政策加担者である。まさに産報化への道をはき清めている腐敗集団であるといえる。

### 権力・動労「本部」革マル一体となつた集会破壊を徹底弾劾!

われわれは、ただちに日比谷野音入口で動労「本部」革マル弾劾集会を開催、十八時会場入口に到着した動労千葉は、こうした動労「本部」の集会破壊の蛮行に怒りのシュプレヒコールを叩きつけた。弾劾集会に対して他単産の労働者もわれわれのまわりを集まり人垣ができ、動労「本部」の妨害に心底怒りを表わして聞きいっていったのである。

われわれは、このように絶対許すことのできない権力・動労「本部」革マルが一体となつた10・21闘争破壊の行為を全国的に明らかにし、怒りをこめて弾劾し、とりわけ動労革マルを全国、全地域から追放・一掃しなければならぬ。また、同日開催された千葉県集会には一三〇名を結集して集会成功を勝ちとつた。

「戦後の総決算」と称して、労働者・人民の生活を破壊し、戦争へとひきずり込むばかりか、ロッキード有罪判決にさえ悪どい居直りをつづけ、とりわけ十一月九日の「戦争放火者IIレーガン」の来日を危機のりきりの突破口にしようとしたくらんでいる反動田中-中曽根を断じて許してはならない。

怒りも新たに、11・9レーガン来日阻止、田中-中曽根打倒へ総決起していくことを全参加者が確認し合つて、この日の行動を終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!